

道ばたに見る春の草たち

市街地の生きもの 広瀬重夫

ブタナ



写真20 ブタナのロゼット葉
11月，須磨区．



写真21 ブタナの群生
5月，須磨区．

■ブタナ

ブタナのロゼット葉（写真20）は、タンポポのロゼット葉に似ていますがそれよりは硬くて、上、下面とも、ややあい毛をたくさん生やしているのですぐ区別できます。

「なんか似ているな」、「でもちょっと違うよう？」などと気づくようになれば、あなたの感覚はりっぱ。でも、それは一日や一年ではムリ。日ごろから見つづける習慣が大切です。

ブタナは、幹線道路の中央分離帯や住宅団地の斜面などで群がって生え、あざやかな黄色の花を散りばめている姿が人目をひきます（写真21）。これもヨーロッパからのお客さんです。これを1934年、神戸で発見した植物学者の北村さんは、フランス語で「ブタのサラダ」といわれていたものに、ブタナという日本名（和名といいます）をあてました。

別名を、その姿かたちからタンポポモドキ（タンポポのにせもの）とも呼びます。

タンポポと違うところは花をつける茎（これを花茎とよぶのでしたね）は3本ほどの枝を出し、できそこないの小さな葉（鱗片葉）を少しつけるところです。

[このページのPDFファイル](#)



トップページへもどる